



ふれあい

河東


 67号
 発行元
 河東地区コミュニティ運営協議会
 広報委員会
 TEL:35-1837 FAX:35-1864
 http://katou-cc.com/

集中とバランス

お手玉大会

6月18日(日)、河東コミセン多目的ホールにて「お手玉大会」が開催されました。参加は過去最高の8地域で、総員40人超えとなりました。特に驚いたのは、日頃、ゲームばかりしていると思っていた子ども達の参加が18人もいた事です。

当日参加するだけでなく「頭載せ・肩載せ」といったハンディキャップでの優勝決定まで続けるほどで、練習してきている事をアピールさせられる接戦した場面もありました。その為時間を大変気にしながらの司会進行となりました。

毎年恒例の個人戦・団体戦といった内容でしたが、やはり「ひかりヶ丘」の方々が上手で技が身につけているのを感じました。

市のスポーツ推進委員の石松先生には一日大変お世話になりました。お蔭様で、楽しく「河東地区のお手玉大会」を無事に終了する事ができました。皆様どうもお疲れ様でした。

(公民館活動部会 酒井匡人)



そば打ち体験記



6月11日(日)、河東コミセン調理室にてそば打ち教室が開催されました。

参加者10人(男性6、女性4)は先ず、道具や材料などの説明を受けた後、いよいよそば打ちに入りました。

そば粉に水を加えながらダマにならないように手際よく混ぜひと塊にまとめ、練り捏ね、麺棒で伸ばし、それをハツ折りに重ね、包丁で切るという工程を一つひとつ講師陣に教えてもらいながら作業を進めました。

そば粉の塊をぶ厚い円盤状から薄〜い長方形に伸ばしていく過程や、駒板を少しずつずらして均一に切る技術(腕)など初心者には「わぁ、難しいんだ!」という嘆きのひとコマもありました。

最後は茹で方の指導もあり、みんなで、ざるそば昼食。そば談義の花が咲き本当に楽しいひとときでした。

ご指導いただいた河東そば打ち研究会(河東そば研)の皆さん大変ありがとうございました。

なお、河東そば研は、毎月1回(次回は8/19(土))河東コミセンにてそば打ちを実施しているとのこと、興味のある方は覗いてみては如何でしょうか。

(運営協議会 馬場毅)



ホタル見物に行きましたか?

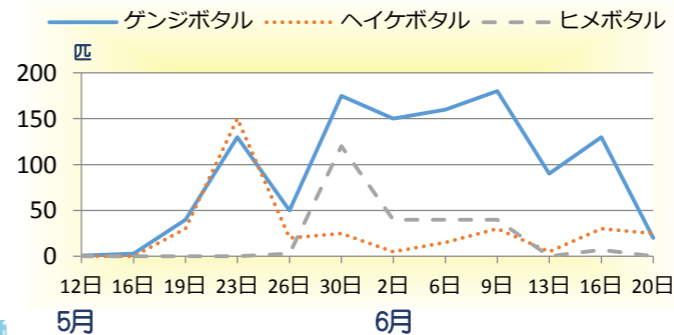
ホタルクラブでは、今年も宗像市のホタルの飛翔状況調査に参加し、5月12日から6月20日の間、「山田ホタルの里公園」で、ゲンジボタル、ヘイケボタル、ヒメボタルそれぞれの飛翔状況を定期的に調査し、市に報告しました。

調査期間中は晴天が続き、夜の温度が低かったこともあり、ホタルの飛翔状況は、昨年より幾分少なかったようでした。

期間中、ホタルを見に来られる方も多く二か所の駐車場はいつも満車の状態でした。



北九州市ホタル館関係者と河東ホタルクラブ会員(山田ホタルの里公園)



そのような中、6月2日、西海保育園の園児45人が大型バスで来て、ホタルが光を点滅するたびに大きな歓声をあげている光景もありました。

また、今年から、情報交流を始めた北九州市ホタル館館長他3人の方々が6月25日、「山田ホタルの里公園」を訪れ、園内を視察後ホタルの保護活動などについて意見交換を行いました。

(環境整備部会 ホタルクラブ 石田重俊)

第11回 歴史講演会



今年も5月28日、山田増福院の本堂をお借りして歴史講演会を開催し、参加者約60人の方が受講されました。

講師に宗像大社、主任学芸員の福嶋真貴子先生をお招きし、「沖ノ島祭祀と沖ノ島の秘宝について」というテーマでお話をして頂きました。今年はちょうど沖ノ島が世界遺産登録が確定的になり参加者の皆様も興味を持って聴いて頂いたと思います。

島から出土した8万点もの国宝も内容や意味まで理解されている方は少ないのではないのでしょうか。その辺を先生に詳しく説明をして頂き、また宗像と大和朝廷との深い関わりまでお話しされて、私は改めて日本の夜明けはこの宗像を大舞台に展開されたという事に確信を持つ事が出来ました。

※「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群は7月9日に世界遺産に登録されました。

農地所有者のご協力により休耕地を活用した「しまわり園」です。大切に觀賞してください。
 河東地区コミュニティ運営協議会



撮影:平成29年7月15日 場所:山田交差点付近